

国別 WID 情報整備調査  
(ラオス国)

平成 11 年 12 月

国際協力事業団

企画部

# 国別 WID 情報整備調査 (ラオス国)

## 目 次

### 略語表

ページ

1. 基礎指標	
1-1 経済・社会関連指標 .....	1
1-2 保健医療関連指標 .....	2
1-3 教育関連指標 .....	3
2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
2-1 ラオスの女性の概況 .....	4
2-2 WID/ジェンダーに関するラオス政府の取り組み .....	4
2-3 ナショナル・マシナリー .....	5
3. 各セクターにおける WID/ジェンダー	
3-1 教育分野 .....	7
3-2 保健医療分野 .....	9
3-3 農林水産業分野 .....	11
3-4 経済活動分野（鉱工業・手工業・サービス業等） .....	13
4. 國際機関・その他機関の WID/ジェンダー関連援助実績 .....	15
5. WID/ジェンダー情報リソース .....	18
6. 参考文献 .....	20
7. 用語説明 .....	22

**Abbreviations**  
(Lao P.D.R.)

ADB	Asian Development Bank
AusAID	Australian Agency for International Development
CEDAW	Convention for the Elimination of All Forms of Discrimination against Women
DPT	Diphtheria, Pertussis, and Tetanus
DTI	Department of Trade and Industry
DLA	Department of Land and Agriculture
EFA	Education for All
EPI	Expanded Program on Immunization
ESCAP	Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
EU	European Union
FAO	Food and Agriculture Organization, UN
F/P	Family Planning
GAD	Gender and Development
GDP	Gross (Values of) Domestic Product
GRID	Gender Resource Information Development
GTZ	German Technical Cooperation Agency
HIV/AIDS	Human Immunodeficiency Virus / Acquired Immuno-Deficiency Syndrome
ILO	International Labor Organization
IMCH	Institute of Mother and Child Health
LWU	Lao Women's Union
NGO	Non-Governmental Organization
POWA	People Opposing Women Abuse
ORT	Oral Rehydration Therapy
OSW	Office on the Status of Women
PHC	Primary Health Care
RDP	Reconstruction and Development Program
STD	Sexually Transmitted Diseases
SEWU	Self Employed Women's Union
UNAIDS	United Nations AIDS Program
UNDP	United Nations Development Program
UNFPA	United Nations Population Fund
UNICEF	United Nations Children's Fund
UNHCR	Office of the United Nations High Commissioner for Refugees
UNIFEM	United Nations Development Fund for Women
USAID	United States Agency for International Development
WID	Women in Development
WEU	Women's Empowerment Unit
WDB	Women's Development Bank
WHO	World Health Organization

## 1. 基礎指標

### 1-1 社会経済関連指標

社会経済指標						出典				
人口('97)	全体	都市人口比率		人口増加率('90-'95)						
	全体	5百万		22.0%		2.60%				
	女性の割合	51.0%				1)				
貧困			国全体	農村部	都市部	1)				
	貧困ライン以下の人口の割合('93)		46.1%	53.0%	24.0%					
民族グループ						7)				
主な民族グループ	ラオ	ブータイ	クム	モン	ラエ	カタン				
	50.5%	12.4%	10.9%	6.5%	2.9%	2.0%				
言語	公用語：ラオ語									
経済指標		GDP/Capita	実質GDP成長率		インフレ率	ジニ係数*1				
		('97) 8)	('97) 8)		('98) 8)	('92) 1)				
		US\$200	6.7%		90.11%	30.4				
政府支出内訳		保健	教育	国防						
('97-'98)(GDPに占める割合)		2.6%	2.4%	4.2%	1)	GNPに占める援助の割合('96)				
		52%	18%	30%						
対GDP比産業比率 ('95)						18.2%				
労働関連指標		農業	工業	サービス業	GNPに占める援助の割合('96)					
最低賃金('97)										
産業別人口の割合('94)		農業	工業	サービス業	26,000キップ/月					
女性比率										
総労働人口		54%	29%	44%	*2					
失業率										
女性の割合		47%	1)	1)	男性	女性				
					都市部	6.7%				
					農村部	-				
全体失業率						2.4%				
女性比率/全体						Female/Total				
国会議員('99)						581/8873 人				
大臣('97)						5)				
副大臣('97)										
女性関連法律		制定年度		内容						
家族法		1990		一夫一妻、結婚の自由						
労働法		1994		労働基準、妊娠した女性の労働禁止、女性の産休						
女性に関する国際条約批准・署名の有無						批准				
女性に対する差別撤廃条約						済				
批准年						1981				
WID関連政策										
国家女性議会(ラオス女性同盟による)：国家計画の評価とレビュー										
1995年以後、政府各レベルでの女性リーダーの進出の促進						7)				
WID関連国家組織										
ナショナル・マシナリー	ラオス女性同盟									

出典

1) 世界銀行(WB) 1999

2) UNDP 1999

3) 都市部労働力調査(ULFS) ('94) 引用 [Labour Market Issues](#), ADB 1999 8) 在ラオス日本大使館 1999

4) アジア開発銀行(ADB) 1999

5) 国家統計局 1997a

6) 労働法1994

7) ADB 1996

8) 在ラオス日本大使館 1999

9) WB 1997

注

\*1 0=完全平等, 100=完全不平等

\*2 センサス結果からの推定(1995)

\*3 ULFSでは家事労働従事者も雇用として計測している

## 1-2 保健医療関連指標

保健医療関連指標					出典	
平均余命('98)	男性52歳 女性55歳	1)	人口増加率	2.5%('78-'98)	1)	
主な死因	1. マラリア 2. 下痢 3. 呼吸器系疾患					
保健サービス指標 ('97)	医師一人当たり人口		看護婦・助産婦1人当たり人口		2)	
	5,727人/医師1人	8)	13,836/看護婦・助産婦1人	8)		
保健医療に係る政府支出 (対GDP比)	2.6%	1)	伝統的医療の使用	一般的		
1才未満乳児死亡率(出生千対)						
全体 ('98)	93 人	1)	予防接種実施率 (1-2歳児)		6)	
女性('94)	108 人	4)	BCG('96)	61.6%		
5才未満幼児死亡率(出生千対)		1)	DPT (3回)('96)	28.3%		
男性	154人		経口ポリオ(3回)('96)	32.9%		
女性	146 人		麻疹('96)	61.5%		
家族計画						
合計特殊出産率('98)*1	5.80%	1)	避妊方法*7 ('94)	IUD	3.5%	4)
母子死亡率*2('90-'96)	650人	1)		ピル	12.9%	
出産介助率*3 ('94)	14%	4)		Periodic/abstinence	7.4%	
家族計画実行率*4 ('98)	11%	5)		挿入	6.6%	
初婚年齢*5 ('94)	17.1	4)		Withdrawal	4.0%	
低体重児 (出生時) *6 ('96)	約20 %	2)		女性避妊手術	3.6%	
リブローダケイブヘルス関連指標					コンドーム	1.4%
出生前検診受診率*8 ('94)	26.7%	4)	妊娠中の破傷風予防接種率(2x)		16%	4)
妊娠婦貧血率*9	35%	2)	('94)			
栄養状況	(人口に占める割合)					
ヨウ素欠乏症('96)	95%	6)	ORH 使用率*10	24%	2)	
ヨウ素添加塩使用率('96)	59%	6)	栄養失調 *11 ('95)	男性48% 女性 47%	1)	
ビタミンA欠乏症('97)	特に女性と子どもの間で顕著					8)
地域医療						
安全な飲料水へのアクセス	44%	9)	衛生施設普及率	18%	9)	
HIV/AIDS						
統計('98)	HIV感染者		AIDS 発症者	うち妊娠の割合		
	265人	10)	86 人	N.A. *12	10)	
新経済メカニズムの保健セクターへの影響：IDS (1995) によると経済改革と旧社会主义諸国からの援助減少は保健部門に少なからず影響を及ぼしている。しかし、その問題とはマネジメント、つまり、計画、意思決定上の問題である。						

### 出典

1) WHO 1999

2) UNICEF 1996

3) WB 1999

4) 国家統計局 & ラオス女性訓練センター 1995

5) IMCH National Birth Spacing Programme 1991, インタビューで入手

6) 国家統計局 1997b

7) UNAIDS 1997

8) 保健省 ('97)

9) UNDP 1998

10) 在ラオス日本大使館 1999

### 注

\*1 女性1人当たり

\*2 100,000人当たり

\*3 医療従事者に介助された女性の割合 (TBAは除く)。

\*4 15-49歳の女性が対象。但し18県中13県のみのデータ。

\*5 初婚の平均年齢。但し15歳以上の女性のみのデータ。

\*6 2500kg以下

\*7 15-49歳の既婚女性のデータ。中絶は含まない。

\*8 過去5年間に出産前検診を1度以上行った女性の割合。

\*9 出産後の貧血

\*10 下痢発生時のORT使用率。

\*11 5才以下乳幼児の体重・身長

\*12 少なくとも母子感染は2例報告されている。

### 1-3 教育関連指標

教育関連指標					出典
教育制度	義務教育5年、初等教育5年				1)
公共支出に占める教育の割合	対GNP比(1995)				2)
成人識字率*1('95)	2.4%				
男女別	男性 73.5%	女性 47.9%			
民族グループ別 - ラオ	75.2%	モン 26.5%			
プータイ	63.0%	ラエ 59.7%			
クム	40.9%	カタン 30.3%			
初等教育('97-98)	6) 高等教育（大学）('97-98)				6)
純就学率 男性	79%	純就学率	男性	3%	
女性	72%		女性	1%	
中等教育('97-98) (前期)	6) 高等教育における女性の割合(大学)				6)
純就学率 男性	46%	学部別('98-'99)	人文科学	49%	
女性	33%		社会科学	37%	
中等教育('97-98) (後期)	6) 自然科学				33%
純就学率 男性	22%	医学	43%		
女性	15%		工学・建築	10%	
教育全般の指標					
教員・学校数 ('97-98)	教員数(人)	学校数			6)
	26,382	初等	7,866		
	7,889	中等 (前期)	737		
	3151	中等 (後期)	163		
初等教育へのアクセス	約4千の村に小学校がない				
教科書へのアクセス	- 1、2学年の児童は教科書を1セット持つ - カリキュラム				
女性教員の訓練	- 教師用教材 - 男女に関係なく教育省が教員訓練を実施。 いずれにしても教育省の予算不足で十分な訓練は行えない。				
成人対象の識字教育	- ノンフォーマル教育の予算はほとんどない。 NGOなどが様々なプログラムを実施している。				
宗教的・文化的側面：家計、家族の姿勢、学校への距離、などから若年層の教育の重要性はあまり認識されていない。女子には学校よりも家事労働が期待されている。					
経済改革が教育分野に及ぼした影響：教育費用が上がり、家計には苦しくなっているケースもある。					

出典

- 1) 教育省でのインディュ-
- 2) WB 1999
- 3) UNICEF1996
- 4) 国家統計局1995
- 5) 国家統計局 1998
- 6) 教育省

注

\*1 15歳以上の人口に占める割合

## 2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

### 2-1 ラオス国女性の概況

#### ラオス国女性の概況

ラオスでは、多くの人々がアニミズムもしくは仏教を信仰し、自然のなかにある精靈を大切にしている。国土の大半は山岳地帯であり、地理的に分断されている。自給をベースにした農業に従事する人が大多数を占め、親族間のつながりは強く、地元に根ざした生活を送っている。ジェンダー役割は、地域によって異なった様相を呈していると言える。

ラオスの女性は、全般的に優しく、保守的で忍耐強いと言われている。また、内気でもあり、公共の場で自分の考えを示すことはあまりないとされる。ラオス女性同盟の報告書によると、「女性は男性よりも弱い立場に置かれている」、とみなされている<sup>1</sup>。一般的に、女性は家事と育児を行い、家族と地域のための活動に従事している。さらに、女性の役割は国内に 68 とされるエスニック・グループによって異なる。そのため、開発援助関係者は、この多様性を十分考慮する必要がある。ラオスのエスニック・グループは居住している場所によって大きく以下の 3 つのグループに分けられる。

低地ラオ族（ラオ・ルーム）: ラオス全体の人口の約 50%を占める低地ラオ族は、タイ族と同じ祖先を有する。主に低地での稻作に従事しており、上座部テラワーダ仏教を信仰している。男性は、人生の一時期、僧として、また女性は、供物を供えることによって功德を積む。彼らは厳密な意味での女系制（夫が妻の家で生活し、末娘が家を継ぐ）を継続させているわけではないが、女性の母親としての役割は高い位置にあるとされる。

中地ラオ族（ラオ・トゥン）: 焼畑農業に従事するほか、山すそでは稻作も行う。父系の家族構成、相続制を有する。カム族、カー族が約 3 割を占める。

高地ラオ族（ラオ・スン）: モン族、ヤオ族が代表。焼畑農業のほか、森での狩猟・採集も行う。地理的に不利な地域に居住するため、母子ともに死亡率が高く、父系制の影響から女性の意思決定への参加度は低い。ラオ語を解さない女性の多くは、識字の問題から開発プログラムにも参加しづらいのが現状であり、開発の恩恵を受けられない。一夫多妻が見られるグループもある。

開発プロセスは、開発ニーズがもっとも高いと思われる遠隔地まで及ぶには長い時間がかかるものである。不十分なインフラと地理的制約のため、このような地域はアクセスが困難であり、経済、生活の質、教育や保健など社会サービスの提供などの面から地域間格差が生じつつある。高い出生率、不十分な保健サービス、時間と労力の要る女性の労働などの要因は女性の健康と寿命に直接影響を及ぼす。家庭の内外での重労働、教育施設と機会の不足が女性の生活の質向上の妨げとなっている。

### 2-2 WID/ジェンダーに関するラオス政府の取り組み

#### ラオス政府の取り組み

##### [法律]

1991 年に制定された憲法第 2 条第 3 章では、「すべての国民は、その性別、社会的地位、教育、宗教、民族グループにいかわらず法の前に平等の権利を有する」とうたわれている。さらに第 24 条では、男性、女性ともに、政治的、経済的、文化的、社会的 側面において平等の権利を有する、としている。

<sup>1</sup> LWU 1995

ラオス政府は、1981年、「女性に対する差別撤廃条約」を批准しているが、実際には男性と女性の置かれた状況、意思決定における相互の役割は異なる。

#### [WID/ジェンダー関連政策]

1996-2000年の国家開発計画のなかでは、WIDに関して特別に設けられた項目はないものの、女性の教育を促進する必要性についての記述がある。「ラオス女性同盟」が5年ごとに開催するラオス女性国会で採択された計画は、ラオスにおける女性に関する開発事業に呼応したものである。現在、UNIFEMの協力を得て女性に関する国家開発計画が策定されている段階である。

#### 2-3 ナショナル・マシナリー

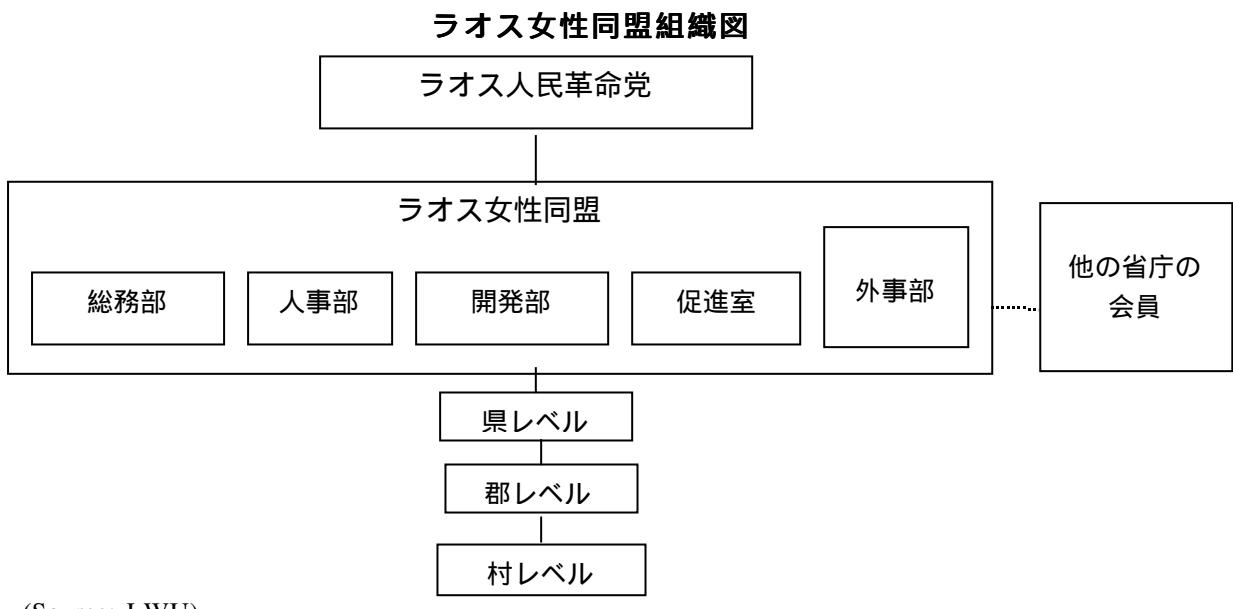
##### ラオス女性同盟 (Lao Women's Union)

#### [設立の背景]

ラオス女性同盟の前身であるラオス愛国女性同盟 (LPWA) は、ラオス人民革命党(LPRP)の大衆政治動員組織として1955年に設立され、1984年、国会で「ラオス女性同盟」と名称が変更された。この時、トップダウン、中央集権式の構造を改め、中央、県、郡、村の4つの段階からなる組織に改組された。その後、ラオス女性同盟はその役割を、草の根レベルの開発事業の振興、ジェンダーに関するアドボカシーなどまで拡大している<sup>2</sup>。また同盟は、中央政府の省と同等の地位にあり、全国に2万の会員を有している。会員は党員とは限らない。全国の村落の96%に女性同盟の会員がいるとされ、遠隔地にも浸透していると言えよう。

#### [組織]

ラオス女性同盟の本部は、総務部、人事部、開発部（教育課、文化課、農業課、訓練課）、促進室、外事部（協力課、連絡課）から構成されており、組織は以下のように図示される。



(Source: LWU)

#### [活動内容]

<sup>2</sup> ADB 1996

- 1) 女性国会の開催と決定事項の実施
- 2) 人民革命党の決議事項と政府政策の実施
- 3) PR 促進とエンパワーメント活動 (LWU ジャーナルの発行、ラジオやテレビでの放送等)
- 4) 生活の質の向上（教育・識字の促進、労働集約的活動の奨励等）、農村開発（収入向上、小規模な家畜飼育、訓練活動、小規模金融のサービス提供）、環境と女性、家族計画など様々なプログラムの実施<sup>3</sup>。
- 5) 女性の地位向上に資するプログラムの実施；北京女性会議の活動計画の実施と推進

#### [ラオス女性同盟が直面している制約と限界]

ラオス女性同盟は、女性の権利とジェンダー問題に取り組む憲法上の権限を有しているものの、幾つかの分野では制約に直面している。女性同盟の第3回議会で挙げられた、ジェンダー・ニーズ及び新たなトレンドをまとめると以下のようなになる。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ・十分に自立が達成されていない              | ・能力のある女性がその努力をやめないよう                     |
| ・各レベル、特に遠隔地まで情報が的確に伝達されていない  | に、党に対して女性問題に取り組むようにアプローチしていない            |
| ・草の根レベルから計画された開発事業が少ない       | ・女性の同等の地位の実施を促進していない                     |
| ・新経済メカニズムで生じている変化を適切に把握していない | ・汚職や社会的不正に対して声を上げるよう女性を支持していない           |
| ・幹部に専門性を備えた女性が十分登用されていない     | ・開発ニーズや女性が資金・資本を管理する訓練に見合うように十分な資金を集めていな |

さらに、政府組織、国際機関ともにラオス女性同盟に依存しているため、その活動は、プロジェクトの数が多くなり負担が重くなっていると指摘する報告もある<sup>4</sup>。過重な負担は、女性同盟の機能の効率低下をもたらすとも懸念される。さらに、女性に関する開発活動がすべて女性同盟に課せられた場合、管理職レベルにある女性や技術系の女性をも取り組んでいくのは困難ではないか、という指摘もある。

---

<sup>3</sup> ibid.

<sup>4</sup> UNICEF 1996, ADB 1996

### 3. 主要セクターにおける WID / ジェンダー

#### 3-1 教育

教育

#### [概況]

政府は 1990 年に「すべての人に教育を (Education for All ; EFA)」と題する活動計画に着手した。これにはフォーマル教育とノン・フォーマル教育の両方が含まれる。この計画は、女性のみを対象にしているわけではないが、女性が受ける便益は大きいと思われる。UNICEF によると EFA が目指すところは、国連子どもの権利条約に密接に関わっている。女性の教育計画課は、1996 年に教育省のなかに設置され）、女性を対象にした計画の実施にあたっている。

教育制度は、5 年間の初等教育、3 年間の前期中等教育、同じく 3 年間の後期中等教育からなるがこのうち初等教育が義務教育になっている。1995 年の教育費は GNP の 2.4% であった<sup>5</sup>。

#### [初等・中等教育]

女子の初等教育就学率は男子の 9 割程度となっており、地域間格差も深刻である。女子の就学率は、ヴィエンチャン特別市とヴィエンチャン県で最も高くなっている。近年の初等教育の問題は、学校の不足（絶対数が足りない）、教育施設及び機材の不足、教育の質の低さ（カリキュラム、教授法）、教科書の不足、教師の不足と質の問題、子どもを取り巻く環境の悪化、など多岐にわたる。もっとも女子の障壁となっているのは、家事労働、両親の意識不足であろう。特に農繁期を考慮したに、農村の生産サイクルに合致するカリキュラムの改訂の必要性も指摘されている。

ラオ族以外の少数民族の子どもは、学校に行き始めても中退者が多く、就学者に占める女子の割合は、学年が上がるにつれ低くなり、この傾向は特に中地ラオ族と高地ラオ族の間で顕著である。

中等教育以上になると女子の就学率は男子の 6 割程度である。通学距離は 8 ~ 20km に及ぶことも珍しくなく、トイレなど学校の施設の問題から、思春期を過ぎた女子の就学は低くなるなど問題が多い。

民族グループ別就学率

	低地ラオ族	高地ラオ族	中地ラオ族	その他	全体
初等教育	72.6%	8.9%	18.0%	0.3%	100.0%
うち女子が占める割合	47.1%	36.3%	41.0%	44.6%	45.0%
前期中等教育	88.3%	5.1%	5.9%	0.6%	100.0%
うち女子が占める割合	42.1%	25.0%	28.0%	42.8%	40.4%
後期中等教育	95.50%	1.90%	0.20%	2.40%	100.00%
うち女子が占める割合	38.70%	24.20%	10.50%	78.20%	37.90%

\*a) 1994-1995 のデータ

(出典：教育省資料)

<sup>5</sup> WB 1999

### [識字]

女性の非識字率は、約 52% とされている。一方男性の非識字率は 26% とされている。農村部では、女性の非識字率は、各世代とも高くなっている。この理由としては、経済状況、学校への距離、家事労働の重さなどが考えられる。低地ラオ族以外の 36 歳から 55 歳の年齢層に属する女性の非識字率は 70% 以上とされ、これは女性全体の平均よりも非常に高くなっている。

1990 年以降、政府は、NGO を含む国際組織の支援を受け、基礎的技能訓練と合わせて、ノン・フォーマル教育を推進している。教育省のなかには、ノン・フォーマル教育部があり、全国に 4 か所のノン・フォーマル教育開発センターが設置されている。これらのセンターは、カリキュラム開発、農村リーダーの育成、識字教育、生活の質改善、収入向上などに取り組んでいる。しかし、少数民族のための識字のためのカリキュラム、教育機材の開発には立ち遅れが見られる。識字推進のためには、将来的には、経済活動に関する情報などを取り組んだ機能識字の訓練などの活動が必要になると考えられる。

### [国際機関による支援]

UNICEF は、教育者の訓練、女性や少数民族のための教育プログラムの推進、教材開発、学校建設などに取り組んでいる。一方、世界銀行は、教材の改良、教育の効果の評価に焦点をあてており、アジア開発銀行は主に中等教育の強化やカリキュラム改善を実施している。UNESCO は、少数民族の識字率向上計画を実施している。

### [経済改革が教育に及ぼした影響]

UNICEF によると、世帯の教育支出は増加傾向にあり、これが子どもの就学率向上の妨げになりつつある、と指摘している。

### 3-2 保健医療分野

#### 保健医療分野の概況

##### [概況]

ラオスにおける保健医療分野の指標は、近隣諸国や所得水準が同レベルにある低所得国の指標と比較しても芳しくないものである。薬草や魔術といった伝統医療への依存度は、所得水準が下がるにつれて上がる。医師 1 人当たりの人口は、5,727 人で、主な死因は、マラリア、下痢、呼吸器系の感染症、等である。1979 年以来、保健省は、WHO、UNICEF、JICA と協力し、拡大予防計画(EPI)を展開しており、1996 年までには、はしかの予防接種率は 60%以上になるなど着実な成果をおさめている。一方、公衆衛生については問題が多く、人口の約 8 割が適切な衛生措置(トイレ)のない生活を送っている。また人口の 5 割が安全な飲料水へのアクセスがない。

さらに、病院の体制不足から、女性は病院に適切なスペースがないまま、患者の看病にあたらざるを得ない。このため農繁期には病人を家に連れてかえって世話をすることになる。

1998 年の保健医療分野への政府支出は、GDP の 2.4%であった。しかし、政府はその多くを海外からの支援に依存しているのが現状である。

##### [保健医療・リプロダクティブヘルスに関する政策]

ラオスは人口が少ないため、出産が奨励され、1990 年までは家族計画は禁止されていた。長期間にわたった出産奨励政策の結果、出産率、貧困率も高くなり、これが女性に過剰な負担を強いている。政府は 1988 年から出産間隔を置くことを奨励し、1993 年には、UNFPA、ラオス女性同盟、母子保健研修所 (MCHI) の協力を得て、出産間隔計画に着手している。このプログラムの主な目的は、乳幼児死亡率の低下、妊産婦死亡率の低下、出生時平均余命の上昇である。これらの指標はいずれもアジア諸国の平均よりも低くなっている。

一方、このプログラムの主眼は、人口増加の抑制よりも母子保健の改善にある。低体重児、低栄養児の割合はこのプログラムの開始後、低下を見せている。現在、政府は、2000 年までに乳幼児死亡率、妊婦死亡率を 25%減少させることを目指している。

##### [リプロダクティブ・ヘルス]

母子保健研修所 (MCHI) は、県レベル、郡レベルでも要員を持ち、母子保健関連施設は、病院内に設置されていることが多い<sup>6</sup>。

公立、民間の病院では、医師、看護婦、助産婦、その他の医療従事者から避妊に関する助言やサービスを無料で受けることができる。

しかし、ほとんどの村には病院がなく、また交通手段もないため、大半の女性にはこれらのサービスへのアクセスが確保されていない。1994 年に実施された出産間隔に関する調査によると、7 割以上の女性は、妊娠中に産前検診をまったく受けていない。定期的な検診を受けている女性は、数パーセントに過ぎない。このため、TT2 の予防接種率も低く抑えられている。リプロダクティブヘルスに関するサービスへのアクセスが確保されていないことから、多くの妊娠した女性が、出産時、親戚や伝統的出産介助者 (TBA) らトレーニングを受けていない人の介助を受けることになる。

出産の 9 割以上が自宅で行われ、病院や診療所での出産は 7%程度にとどまっている。

<sup>6</sup> UNICEF 1996

## [家族計画]

妊娠した女性のうち、約 6 割が子どもを望んでおらず、約 2 割が出産間隔を取る必要があるとされる<sup>7</sup>。しかし、避妊具の入手は一般的でない。主な避妊方法は、女性の避妊手術、ピル、挿入、IUD で、コンドームの使用率は非常に低い。男性の避妊手術は稀である。

## [リプロダクティブ・ヘルス]

農村女性の動物性たんぱく質摂取は少なく、炭水化物への依存分が大きい。野菜や果物についても同じであり、ビタミンと鉄分の不足が指摘できる。食生活上の問題が母子死亡率の高さにつながっている。中絶は禁止されているが、流産といった形で秘密に中絶する女性も多く、これが女性の死亡率の高さの原因のひとつともなっている。

## [HIV/AIDS]

性感染症(STD)については、非公式であるが、HIV 感染者の 7 倍程度いるものと予想されている。実際には、STD 感染者は、治療を受けずに神経症に苦しむものが多い。

HIV 感染者数及び AIDS 発症者は、周辺国と比較してもまだ少ないとされるが、公式な統計とは裏腹に、近い将来には、保健医療のサービス不足から大爆発するのではないかとも懸念されている。

HIV 感染者数及び AIDS 発症者の数が多いとされているのは、ヴィエンチャン特別市、北部のボケオ県、南部のチャンパサック県であり、これらはいずれもタイと国境を接している。

HIV 検査は、限られた保健施設でしかできず、あまり一般的ではない。1998 年、NGO がタイから帰国した季節労働者を対象に実施した HIV/AIDS 調査で、10 名が HIV に感染しているのが発見されている。

国家 AIDS 抑制委員会 (NCCA) は 1988 年に設置された。AIDS 予防中期計画を受けて、ラオス国家 HIV/AIDS/STD プログラム(1996-2000)が、国立伝染病研究所の主導のもと実施されている。各省を取りこみ、その役割を明確化するなどして予防的措置実施の必要性を説くなど具体的方策にも乗り出している。さらに、ラオス女性同盟にも呼びかけ、AIDS 予防についての認識を高めようとしている。

リプロダクティブ・ヘルスの問題は以下のようにまとめられる。

- 各レベルのヘルスワーカー、ボランティアの訓練不足
- リプロダクティブヘルスに関する若年層の関心の低さ
- 避妊についての物理的、経済的アクセスの欠如
- HIV/AIDS/STD を含む保健情報・知識普及の必要性

## [経済改革の保健医療分野への影響]

開発研究所 (1995) によると、80 年代末に始まった経済改革と旧社会主義諸国からの援助減少は、保健分野に、財源及び関係者の士気という点で大きな影響を及ぼしている。しかし、保健分野の問題は経済改革によるというよりも、むしろラオスの医療体制が海外からの援助に依存している割合が大きいことが問題であると言える。

<sup>7</sup> National Statistical Centre 1995

### 3-3 農林水産業分野

#### 農林水産業分野の概況

##### [WIDに関する政策]

農林水産業分野について女性を対象にした施策は特に行われていない。ラオス女性同盟や NGO は、小規模融資のため、村落を基盤にした回転資金の導入を行っている<sup>8</sup>。

##### [普及活動 / 灌溉とジェンダー]

農村を訪問する農業・灌漑普及員のなかに占める女性の割合は低い。これは、家族から離れて遠隔地で働く必要があるためとも考えられる。しかし、NGO のなかでは、農業における女性の役割の重要性を認識し、農村の生計向上に資するべく女性のトレーニングを行っているようなところもある。

農業普及員数 (1994) (単位・人)

	全体	女性
農業普及局 (中央)	241	41
県・郡レベル	790	112
全体	1,038	153

出典：農林省

林野局の技術員の数 (1997) (単位・人)

	全体	女性
県・郡レベル	1,381	259

出典：農林省林野局

##### [農地と森林の使用権と所有権]

ラオスでは、すべての土地が国の所有物とされているが、主に低地ラオ族を中心とした女性は、慣習法に従って 5 割以上の土地を相続している。土地所有権の相続は母子直系である。

1990 年に土地法が制定され、森林や共有地は、登記、徵税の対象となった。従来、慣習法によって相続されていた土地は、公的手続きを経て登記されることになったのである。農業、林業に関する土地については、条件をクリアし、登記によって政府から使用権を得ると、3 年間の所有が認められる。この時の条件とは、耕作によってしか収入が得られないこと、土地使用について係争などがないこと、などである。しかし、実際には、公式な所有権がないまま、公的手続きを進めているのは男性であり、土地使用権を得ている。これは主に、土地に関する情報や

<sup>8</sup> UNICEF 1996

知識の不足、女性の識字の問題のためであると考えられる。このようにして、女性は以前は所有していた土地を失い、民事裁判が増えつつある。このように土地をめぐってジェンダー格差が生じることも懸念される。

### [小規模金融へのアクセス]

1993年、政府系金融機関である農業奨励銀行（Agricultural Promotion Bank；APB）は、農業融資スキームと共同義務をもとにした融資を開始した。利子率は、民間銀行よりやや低めの7～10%であったが、金融機関から資金を調達する人はラオスでは稀である。その結果、貸出率も非常に低い。特に女性は、担保も必要であることから、利用者は少ない。

ラオス女性同盟は、村を基盤にした回転資金を活用し、また、国際NGOと協力し、医薬品の供給、食料の緊急調達と備蓄品の準備などの活動を行った結果、これらの活動は適切な訓練がなければ効果を発揮しないという教訓を得ている。一方、いわゆる貧困層と呼ばれる世帯の女性の返済率は高い。しかし、システム自体は、原資を外からの資金に依存しているため、融資システムとしての持続性が足りないのが現状である。このような経験から、UNDPは、小規模金融は貯蓄、市中銀行の金利と隔離していない程度の金利、会計・管理の土壤、これらが組み合わされて初めて持続的なものになる、と報告している。

現在、政府機関、国際機関、NGOの間でラオスの小規模金融に関する会合が開かれており、ラオス中央銀行、農業奨励銀行（Agricultural Promotion Bank；APB）、農業省、国際NGOが参加している。ここでは将来的に導入されるべき手法についての検討が行われている。

さらに、低成本で効率的な融資システムが設立される必要があると思われる。そこでは、貯蓄の活用に重点を置き、明確な目的が提示されるべきであろう。

### [農村における女性の生産活動への参加]

ラオスでは、動物たんぱく源の約半分は淡水魚であり、男性による漁業も盛んに行われている。女性は、余剰分を市場で売るが、大規模な商業ベースの漁業もメコン河沿岸やナムグム河、ナムゲム湖などで行われている。

一般に灌漑施設が建設されると、村では男性が石を運んだり、セメントを流す建設や水の調節など維持管理を行う。取水口や水資源の管理を行うのも男性である。

焼畑農業では、1月から2月にかけての伐採、4月の焼き入れ、5月の種まき、9月から10月にかけての収穫など一連の作業があるが、民族グループによって差異はあるものの、ジェンダー役割は歴然としている。つまり、伐採は男性と女性が、焼き入れは男性が、種まきは男性と女性が、雑草取りは女性が、収穫は男性と女性が行う。男性は水牛と牛の世話をし、女性は家畜を市場で売る。薪集めと水汲みは女性の仕事であり、鳥や鹿の狩猟は男性の仕事である。

政府は、移動性の焼畑を行っている人々を対象にした定住化計画を打ち出しており、2000年までにそれらの人々の6割が定住することを目標に掲げている。UNICEFが実施した調査によると、焼畑に従事している女性は、作物の多様化などによる収入向上に強い関心を持っている。これは、焼畑が天候に大きく依存し、生産が安定していないことによるものと思われる。

--	--

--	--

**[鉱工業部門の女性に関する政策]**

- 繊維分野：政府は、伝統的な織物を保全し、この分野に従事する女性の雇用機会を守る計画を策定している。
- 労働基準：

繊維、製紙など外国企業の進出を受け、民間部門の雇用機会は都市部では増加しつつある。しかし、長時間労働、低賃金など労働問題が生じつつある。1994年に制定された労働法では、男女の賃金平等、最低賃金、産児休暇、労働組合の結成などが明記されているが、これらは公的部門でしか実行されていないのが現状である。

労働社会福祉省は、現在、将来の労働政策に備えて労働関係の基礎的データを収集している段階である。一方、労働基準の遵守については、それを監督する機関ではなく、労働争議の仲介は労働組合があたっている。女性労働者は、賃金未払いや支払いの遅れなどの問題が生じても抗議をしない傾向がある。特に仕事を求めて都市部に来た女性の間ではこの傾向が顕著である。

**[インフォーマル・セクター]**

都市部では、1994年の都市労働力調査によると、インフォーマル・セクターは労働全体の40%をうわまわる程度でうち女性は7割を占めている。

**[就業人口]**

ラオスの就業人口に占める女性の割合は、ヴィエトナム、タイ、カンボディアなどの近隣諸国と同程度で比較的高く、47%となっている<sup>9</sup>。女性の就業状態は、男性のそれと比べて悪い。

勤勉に働くのは女性であると言われているものの、意思決定レベルでの女性の割合は低く、管理職や技術レベルでは特に女性は少ない。一方、小規模商業従事者の女性の割合は63.3%であり、特に織物、食品加工、小売では女性の割合が高い。

部門別女性の割合（都市部の被雇用者）

	男性	女性	女性の割合
公的部門	19,368	9,666	49.9%
民間部門	12,082	6,231	51.6%

(出典： 都市労働力調査 1994)

**[職業訓練・技術訓練]**

職業訓練・技術訓練のための教育機関としては、職業訓練校、技術訓練校、高等技術学校の3つがある。食品加工、縫製、秘書、会計などの分野では女性が多い。木工、大工、機械、電子工学、電気、陶芸、土木、灌漑などでは男性が多い。技術レベルが高くなるにつれ、女性の割合は低下する傾向が見られる。

国営企業の民営化によって、公的部門での採用が減少しているため、女性卒業生が習得した技術

---

<sup>9</sup> WB 1999

分野で職業を見つけるのは困難になりつつある。

以前は、ヴィエンチャン教員養成大学、ポリテクニック、医学大学の3つの大学であったのが、1996年に他の9の職業訓練機関と統合して、ラオス国立大学が設立された。これは、アジア開発銀行(ADB)の大学改革プログラムの一環である。1995-96年期の旧職業訓練校の統計によると、教育と医療分野以外では、女性の割合は以下のように限定的なものにとどまっている。

技術学校就学率 (1998-1999)

学校名	生徒数		女性の割合(%)
	全体	女性	
トンカムサン農業学校	309	89	29%
灌漑学校	104	6	6%
通信学校	262	40	15%
公衆衛生学校	540	355	66%
郵便学校	40	12	30%

出典：教育省

### [育児施設]

1975年から1990年まで運営されていた国営の託児所は民営化され、現在は、育児施設が必要な親は家族、親戚、近所の人に頼ることが多くなってきている。

### [その他の社会開発指標]

電化率（既存グリッドによる）	20.90%			1)
家屋内の照明手段	ガス 59.00%	電気 28%	ろうそく 10%	2)
料理用燃料	薪 92.70%	炭 4.30%	電気 1.90%	1)
公共サービスへの距離	郵便局 22km	公共交通手段 12km	主要道路 10km	2)
メディア普及率	ラジオ 56%	テレビ 19%	ビデオ 2%	2)

1) 国家統計局資料 1997

2) 収入・支出調査、社会開発指標 1995

#### 4. 國際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト名	実施機関	援助機関	期間	予算(US\$)	内容	備考
<b>教育</b>						
Women's Education Project (Vientiane)	Ministry of Education	ADB	1996-1998	75,000		1)
Non-formal Education for Women and Ethnic Minorities (Oudomsay, Sekong)	ESF	ESF	1997-1997	15,000	1) To provide and to increase opportunities for ethnic minorities and women to participate in basic education to be active in their own development 2) To establish non-formal education structure from provincial local resources and to build a capacity to effectively manage NFE 3) To produce attractive reading materials relevant to community needs	1)
Distance Basic Education and Women's Literacy Basic Skills (Nationwide)	UNESCO	Norway	1997-1997	905,000		1)
Children and Adult Education Programme (Houaphanh, Phongsaly, Xieng Khouang)	MCC [ ]	MCC ZOA-NET	1996-1998	12,000	Support village schools construction, non-formal education of villages and women's capacity building. Support new village initiatives for development	1)
Non-formal Education for Women and Ethnic Minorities (Luang Namtha)	ESF	ESF	1994-1998	687,000	1) To provide and to increase opportunities for ethnic minorities and women to participate in basic education to be active in their own development 2) To establish non-formal education structure from provincial local resources and to build a capacity to effectively manage NFE 3) To produce attractive reading materials relevant to community needs	1)
Community Education in Saravane and Attopeu	WE [ ]	WE	1993-1997	233,000	1) To design, implement, evaluate and refine a community education and action program in conjunction with community members, particularly women 2) To strengthen the capabilities and experience of government officials to support this process 3) To develop an approach among national, provincial and local agencies to support and expand the program	1)
Improvement in educational Administration and Ordinances (Nationwide)	Ministry of Education	IDA	1993-2000	19,176,000	Restructuring the education administration and the education act; improvement of the capacity of the information center within the Ministry of Education and Sport; development of curriculum and text books; improvement of non-formal education; establishment of project implementation unit within the Ministry of Education and Sport	1)
Improvement in Capability of Information Center of Ministry of Education and Sports	Ministry of Education					
Quality Improvement in Primary Education and Women's Literacy (Nationwide)	Ministry of Education	UNICEF	1992-1997	4,778,000	Improvements in the quality of primary education through education reform, expanded access to primary education for school age children, and improving literacy rates amongst women.	1)
Non-formal Education Center-National Program	Ministry of Education	WE	1993-1994			
Comprehensive Non-formal Education Center Development including Income Uplift	Ministry of Education	WE	1993-1995			
<b>保健医療</b>						
Mother and Child Health Related rural Development [ ]	Mother and Child Health Institute	SCF-UK	1996-2000	698,000	To improve the quality of healthcare and nutritional status of children and their mothers in the province through an integrated rural development approach. To improve health systems information and planning at all levels in the province and disseminate lessons to a wider audience	1)
Population/Reproductive Health and Sexuality Education Through Formal and Non-formal Education System (Nationwide)	UNFPA	UNFPA	1998-2000	303,000	Population/reproductive health and sexuality education through formal and non-formal education	1)
Pilot Project to Integrate Population Education in Formal and Non-formal Population (Champassak)	Ministry of Education	UNFPA	1995-1998	216,000	To have contributed to the government's policies and strategies, particularly those concerning Maternal and Health (MCH) and birth spacing to improve quality of life	1)
Mother and Child Health Care Project 1, Khammuan Province	? *1, Khammuan Province	SCF(UK)	1995-2000	697,965		2)
Mother and Child Health Care Cooperation Project	Ministry of Health ? *2		1996-1998	58,148		2)
Mother and Child Health Department Programme Support Khammouane Province	Mother and Child Health Institute	SCF-UK	1993-1997	684,000	Training and equipment to assist the MCH Institute in improving training standards, MCH services, and coverage in order to decrease infant and maternal mortality, and promote good infant and maternal health.	3)
Health and Nutrition	Ministry of Health	UNICEF	1992-1997	11,254,000	Immunization, control of diarrhoeal diseases, malaria, acute respiratory infections; and mother and child health to accelerate the reduction of infant and maternal mortality rates.	3)

プロジェクト名	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	内容	備考
Situation analysis of Women and Children/Planning and Monitoring Project	Ministry of Health	UNICEF				
Maternal Health	Ministry of Health	WHO				
AIDS Prevention	Ministry of Health	WHO				
Training of Health Worker at District Level	Ministry of Health	CIDSE				
Gravity Water for the Mitigation of Women and Children's Burden	Ministry of Health	MCC				
PHC Project	Ministry of Health	Japan/WHO				
<b>農林水産業</b>						
Small Scale of Rural Development Project in 20 Villages, Khoksa At, Sainthany District	LWU	Foundation for Integrated Agriculture Management	1997-1999	461,805		2)
Gender and Development Project	LWU	CAA	1995-1998	130,000	Project goal is to strengthen the status and role of rural women in Lao PDR by; 1) Strengthening the capacity of provincial and district LWU staff in participatory/community-based development approach including PRA and gender analysis; 2) Supporting PRA and gender studies in target communities; 3) Supporting study trips and exchanges between women and men from different villages districts and provinces; 4) Providing revolving funds / micro credit for community initiatives; 5) Village trainings; 6) Documentation and networking	1)
Comprehensive Rural Development		Save the Children Fund (Australia)	1994-1998			
Organization of Women's Group for Agriculture Irrigation		Community Aid Program	1994			
Women in Rural Development (Vientiane)	JVC	JVC	1992-1997	112,000	1) To promote community development with gender concern at various administrative levels such as province, district and village 2) To improve the quality of life and sustainable agriculture in villages 3) To strengthen the capacity of provincial LWU for development work	1)
Art and Craft Preservation and Promotion for Lao Women (Luang Prabang, Vientiane)	JVC	JVC	1992-1997	66,000	Textile Production Technology 1) Preserve the textile producing technique and design patterns 2) to promote and upgrade training of the weaving groups on the appropriate technology marketing and knowledge transfer to the village 3) To share the experiences on dyeing technique, patterns and marketing between the weaving groups in the country and abroad To support revolving fund for the weaving group for the promotion of traditional textile production	1)
Productivity Improvement Program for Minority People in Poverty		Quaker	1989-1994		Income Uplift	
<b>経済活動</b>						
Income Generating Activity in Sayaboury	[ ]	UNDP	1997-2001	1,145,000	Alleviate poverty in rural communities through the comprehensive development of off-farm/non-farm income generating activities and assistance through product development and marketing of on-farm income generating activities among the rural poor with a particular focus on women and ethnic groups.	1)
Income Generating Activity in Oudomxay	[ ]	UNDP	1997-2002	690,000	Alleviate poverty in rural communities through the comprehensive development of off-farm/non-farm income generating activities and assistance through product development and marketing of on-farm income generating activities among the rural poor with a particular focus on women and ethnic groups.	1)
Women's Employment Opportunity Training Research		Netherlands	1994	13,000		
Women in Small and Medium Enterprises in Lao (Nationwide)	LWU	UNESCO	1996-1997	1,000	Working document for a Regional Workshop 'Women's Empowerment in Small and Medium Term Enterprise' to take place in Bangkok in June 1997. The Women in Small and Medium Enterprises in Lao is a case-study on the situation of women in economic life, particularly in relation to the quality of women's rights with men in small and medium enterprises	1)
Phongsaly Rural Women's Micro-Credit Project (Saravane)	SCA	SCA	1994-1997	24,000	Increase the income of rural women and improve living standards, improve skills in running small enterprises Revolving loan funds provided for weaving, rice and cowbanks, fish and small animal raising and cash crops GFWS and small scale irrigation system	1)
<b>キャパシティー・ビルディング</b>						

プロジェクト名	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	内容	備考
<i>Strengthening Lao Women's Union on Management and Public Awareness on Gender Sensitive Issues</i>	LWU	Japan via UNDP	1998-2000	180,000	Capacity building of LWU in order to improve its ability to provide women the information and resources necessary for their equal participation in Lao society. Two pillars focus: its human resource capacity and its communication capacity	
<i>Gender Resource Information and Development Programme (GRID)</i>	LWU	Norway via UNDP	1997-2000	892,000	Share information networking on gender and development lessons / Promote gender awareness / Train government officials in gather and use gender sensitive development planning	1)
<i>English Skill Upgrading for Staff of Lao Women's Union Center</i>	LWU	WFWP	1997-1997	4,000		2)
<i>Women's Opportunities for Income Generation</i>	WE LWU	WE	1995-1997	29,000	1) Provide LWU staff at all levels with information to formulate strategies that support women's access to income; 2) Train LWU staff at all levels in designing, planning, implementation and reporting of future research that can contribute to the development of policies and programs in support of women's involvement in the economic sector	1)
Women in Action field Project		UNICEF	1995			
Training Center Construction of Lao Women's Union		Japan	1995			
Lao Women's Union Assistance		UNICEF	1994-1995			
Administrative Development for Promotion of Minority Women's Participation	Prime Ministers Office	UNDP	1993-1997			
Development and Women (Capacity Building for Lao Women's Union)	LWU	UNICEF	1992-1997	1,829,000	Equipment and other support to strengthen the administrative capacity of the Lao women's Union and provincial women's unions; improvement in the welfare of rural women	1)
Lao Women's Union Assistance		SIDA	1991-1994			
Handicraft Industry Strengthening Program		UNDP	1984-1994	3.2 million		
Assistance for Lao Women's Union (Development and Women's Role)		CIDSE				
<b>その他</b>						
Local Development Program		JICA	1997-1999		The project consists of four different sub-projects: 1)Community based environmental health improvement project; 2) Income generation activity project in Oudomxay; 3) Lao Red Cross Blood project; and 4) Project for supporting women's lives	
Children in Difficult Circumstances (Nationwide)	CWS Ministry of Labour and Social Welfare	CWS	1996-2000	32,001	Awareness building on child prostitution and trafficking children	
Strengthening Rural Women's Socio-Economic Position (Saravane)	LWU	WE	1996-1997	38,000	To assist rural women to assess the impact of environmental socio-economic and infrastructural changes on traditional and existing sources of livelihood, and to evolve suitable strategies by which they can strengthen their economic capacity and control over livelihood sources.	1)
Women's Employment Development Project (Vientiane)	LWU	CARE	1996-1996	1,000	Building on a survey of 18000 young unemployed female high school graduates in vientiane preecture, conducted by the LWU, this pilot project provided training in computer to 10 women. Next, the women had a 2 and a half month period of work study and english, and finally they were assisted to find long-term employment.	3)
Men & Women's Roles Development Project	LWU	CAA	1995-1997	120,000		2)
Rural Women Development Project Sayabury (Phase II)	LWU	SCA	1995-1997	503,844		2)
Rural Women Development Project Bolikhamsay (Phase II)	LWU	SCA	1995-1997	259,072		2)
Family Planning and Socio-Economic Development Program		UNFPA	1993-1995			

\*1 The implementing agency not specified in 'Directory of NGOs in Lao PDR 1997'

\*2 As it is in 'Directory of NGOs in Lao PDR 1997'

Reference:

1) *Development Co-operation Report Lao PDR 1998*

2) *Directory of NGOs in Lao PDR 1997*

3) *Development Co-operation Report Lao PDR 1997*

## 5. WID/ジェンダー情報リソース

	名称	実績など	報告書等	連絡先
政府機関	Lao Women's Union			Manthatoulath Road, Vientiane, P.O. BOX 59 Tel&Fax (856-21)-214306
	Gender Resource Information and Development Centre (GRID)			Ban Sapanthong Kang Vientiane, P.O. BOX 59 Tel (856-21)-413228 Tel&Fax (856-21)-416343 Email grid@pan-laos.net.la
	Ministry of Health			Simeuang Road, Vientiane Tel (856-21)-214006 Fax (856-21)-214001
	Ministry of Education			Lane Xanng Avenue, Vientiane P.O. BOX 67 Tel (856-21)-214722 Fax (856-21)-216006
	Ministry of Industry & Handicraft			Nang Borne Road P.O. Box. 4708 Tel (856-21)-2141435
	Ministry of Agriculture and Forestry			Lane Xang Road, Vientiane Tel (856-21)-212342~44
	Ministry of Justice			Lane Xang Avenue, vientiane Tel (856-21)-414102
	Ministry of Labour & Social Welfare			Pang Khan Road, Vientiane Tel & Fax (856-21)-314852
	National Statistic Center			Xiengve Section sikkhot Dist, VY B.P.2191 Tel (856-21)-214036
	Mother Child Health Institute			Km 3, Thadeu RD, Tel (856-21)-315500
	National Institute of Hygiene and Epidemiology			Phonsay Road, Vientiane Road Tel (856-21)-412392 Fax (856-21)-414383
	Lao National Chamber of Commerce & Industry			87, Lane Xang Ave, P.O. Box 780 Tel (856-21)-212752 Fax (856-21)-212752
	The Lao Federation of Trade Union			
国際機関	UNDP			Phon Kheng Road, P.O.Box 345, Vientiane Tel (856-21)-213390-1, 94-97 Fax (856-21)-212029, 214819
	UNICEF			Quarter Wat Nak, KM-3 Thadeua Road, P.O.Box 1080, Vientiane Tel (856-21)-315200-01, 315203-04 Fax (856-21)-314852
	UNFPA(United Nations Population Fund)			Phon Kheng Road, P.O.Box 345, Vientiane Tel (856-21)-413467, or 213390 c/o UNDP Fax (856-21)-412398
	UNHCR			Phong Kheng Road, Vientiane Tel (856-21)-212038~9 Fax (856-21)-213385
	IMF			c/o Bank of Lao PDR, Yonnet Road, P.O.Box 19, Vientiane Tel (856-21)-213106 Fax (856-21)-214986
	FAO			Phonh Xay Road, Vientiane Tel (856-21)-414503 Fax (856-21)-414500
	WHO			That Luang Road, P.O.Box 343 Tel (856-21)-414264 Fax (856-21)-
	WB Liaison Office			Patou Xay, Nehru Road, P.O.Box 345, Vientiane Tel (856-21)-414209 Fax (856-21)-414210
	SIDA			Sokpaluang Rd. P.O. Box 230 Tel (856-21)-216489
	GTZ			PhongthanhRd. Sisangvone St. VT Tel (856-21)-412586 Fax (856-21)-412585
NGO	Care International Lao PDR (CARE)			137/17 Thong Toum Road, Ban Thong Toum, Vientiane, P.O.Box.4328 Tel (856-21)-217988 Fax (856-21)-212991
	Church World Service (CWS)			
	Community Aid Abroad (CAA)			082/1 Chao Anou Street, Vientiane P.O. Box. 2927
	Cooperation Internationale pour le development et la Solidarite (CIDSE)			19/3 Chao Anou, Vientiane, P.O. Box. 2795 Tel&Fax (856-21)-219021
	Deutcher Entwicklungsdienst (DE)			P.O. Box. 2455, Vientiane
	Ecole Sans Frontieres (ESF)			144/4 Chao Anou, Vientiane, P.O. Box. 3182
	JOICFP			Hoken Kaikan Shinkan Bldg. 1-10 Ichigaya Tamachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162-0843 Tel (81-3)-3268-5875 Fax (81-3)-3235-7090 Email joicfp@bekkoame.ne.jp
	JVC			342 Sisangvone Road, Vientiane Tel (856-21)-413942 Fax (856-21)-413083
	Mennonite Central Committee (MCC)			P.O. Box. 1118 Tel&Fax (856-21)-312901
	Norwegian Church Aid (NCA)			That Luang Road, P.O. Box. 4804, Vientiane Tel&Fax (856-21)-413867

	名称	実績など	報告書等	連絡先
	Oxfam			P.O. Box. 4723, Vientiane Tel (856-21)-212995
	Red Cross			Lao Red Cross Society, P.O. Box. 2948 Tel&Fax (856-21)-215935
	Save the Children Fund Australia (SCA)			082 Luang Prabang Road, Ban Nakham Sikhottabong, District, P.O. Box. 2783, Vientiane Tel (856-21)-212995
	Save the Children Fund U.K. (SCF (UK))			BP1146, Vientiane Tel (856-21)-216286/216744 Fax (856-21)-216285
	SVA			P.O.Box 4561, Vientiane Tel (856-21)-216723 Fax (856-21)-216424 Email jsrc@pan-laos.net.la
	Women's Federation for World Peace (WFWP)			P.O. Box
	World Concern (WC)			P.O. Box 2938, Vientiane Tel (856-21)-413952 Fax (856-21)-414234
	World Education (WE)			P.O. Box. 4697, Vientiane Tel&Fax (856-21)-213059
	World Vision Lao PDR (WV)			41 Pangkham Road, P.O. Box. 312 Tel (856-21)-216184 Fax (856-21)-215306
	ZOA-Lao PDR			P.O. Box. 4224, Vientiane Tel (856-21)-313071

## 6. 参考文献

題名	著者	年	入手先
<b>全般</b>			
Basic Statistics 98: About the Socio-economic Development in the Lao PDR	National Statistical Centre, State Planning Committee	1999	GRID Centre
Laos Gaikyo	Embassy of Japan in Laos	1999	Embassy of Japan
Development Co-operation: Lao PDR 1998 Report	UNDP Laos	1999	UNDP
National Human Development Report 1998	UNDP/State Planning Committee/National Statistical Centre	1999	WHO
The World Health Report 1999	WHO, Geneva	1999	WHO
The World Development Report 1998/99	WB	1999	WB
UNICEF Lao PDR: Annual Report 1998	UNICEF Laos	1998	UNICEF
The World Development Report 1997	WB	1998	WB
The World Health Report 1998: Live in the 21st Century	WHO, Geneva	1998	WHO
World Development Indicators 1997	WB	1997	JICA
UNICEF/Government of Lao PDR: Master Plan of Operation 1998-2002	UNICEF Laos	1997	UNICEF
Results from the Population Census 1995	National Statistical Centre, State Planning Committee	1997	GRID Centre
Gender in Development from Policy to Practice: Discussion Paper (unpublished)	Harmien Rodenburg for UNDP	1996	JICA
Country Operational Strategy Study for Lao PDR	ADB	1996a	
Children and Their Family in the Lao PDR	UNICEF	1996	JICA
Country Profile with a Gender Focus: Lao PDR	GTZ	1996	
Country Report on Women in Lao PDR, National Committee for the Preparation for the 4th World Conference on Women (Beijing 1995)	Lao Women's Union	1995	UNDP, GRID Centre
Economic Development in Lao PDR: Horizon 2000	Chi Do Pham	1994	GRID Centre
Labour Law of Lao PDR	Ministry of Labour and Social Welfare	1994	
Statistical Compendium on Women in Asia and the Pacific	United Nations, New York	1994	GRID Centre
Working Document for Lao Participants to NGO Forum on Women in Beijing, August, 1995	UNIFEM	1992	
Country Gender analysis for the Lao PDR	SIDA	1992	UNDP, GRID Centre
<b>教育・訓練</b>			
Lao PDR - Women's Education Project: Interim Report and Final Report	ADB, Presented by Eduplus Management Group Inc.	1997	GRID Centre
Technical Assistance to the Lao People's Democratic Republic for the Women Education Project	ADB	1996b	JICA
<b>医療・リプロダクション</b>			
A Demographic Perspective on Women in Development in Cambodia, Lao PDR, Myanmar and Viet Nam	ESCAP	1998	UNICEF
Country Profile: Lao PDR	UNAIDS	1997	JICA
Report on Multiple Indicator Cluster Survey (MICS)	National Statistical Centre, State Planning Committee	1997	GRID Centre
Report on The Fertility and Birth Spacing Survey in Lao PDR	National Statistical Center & Lao Women Training Centre	1995	GRID Centre
Impact of Economic and Institutional Reforms on the Health Sector in Laos: Implications for Health System management	Stephen Holland et al., Institute of Development Studies, Brighton, UK	1995	White Rabbit Consultant
Women and Children in the Lao PDR: Results from the Lao Social Indicator Survey	Ministry of Public Health & Mother and Child Health Institute	1994	JICA
Report on Cultural Views on Reproduction & Main factors influencing contraceptive use in Lao PDR	Ministry of Public Health	1994	GRID Centre
Traditional Child Rearing Practices among Different Ethnic Groups in Houaphan Province, Lao PDR	UNICEF, Presented by Somporn Phanjarun et al.	1994	UNICEF
Socio-Cultural and Economic Determinants of Contraceptive Use in the Lao PDR: Results of a National Survey in 7 Provinces	Ministry of Public Health & Mother and Child Health Institute	1993	JICA
<b>経済活動</b>			
Microfinance Survey-Lao PDR Vientiane 1996	UNDP/UNCDF	1996	
Country Paper on Improving the Access of Women to Formal Credit and Financial Institutions in the Lao PDR	ESCAP	1994	

題名	著者	年	入手先
<b>農林水産業</b>			
<i>Gender and Land Documents: How Do Society's Perceptions of Gender Affect Women?</i>	LWU/GRID	1999	UNDP
<i>Gender, Culture and Land Rights in Rural Laos</i>	Asian Institute of Technology, presented Loes Schenk-Sandbergen	1998	GRID Centre
<i>Land, Gender and Social Issues in Lao PDR: Towards Gender Sensitive Land Titling</i>	Loes Schenk-Sandbergern & Hermien Rodenburg, Chansamone Phengkhay	1997	AusAID
<i>Special Report: Gender Development in Irrigated Agriculture, Sustainable Irrigated Agriculture Project (SIRAP)</i>	Mekong River Commission	1996	JICA
<i>Final Report: Gender Development in Irrigated Agriculture in SIRAP Irrigated Schemes June 1993 to December 1995</i>	Mekong River Commission	1996	GRID Centre
<i>Field, Forest, and Family: Women's Work and Power in Rural Laos</i>	Carol J. Ireson	1996	GRID Centre
<i>Report: Gender Development Evaluation Workshop Scheme Level, Sustainable Irrigated Agriculture Project (SIRAP)</i>	Mekong River Commission, Bangkok, Thailand	1995	JICA
Women in Rice Field and Offices Irrigation in Laos, Gender Specific Case-Study Four villages	Loes-Schenk-Sandbergen Outhaki et al.	1995	
<b>労働</b>			
<i>Labour Market Issues: Lao People's Democratic Republic</i>	ADB	1999	GRID Centre
<i>Project Document: Women's Career Development Project in Vientiane</i>	CARE International	1995	UNDP
<i>Promotion of Equality of Opportunity and Treatment for Women Workers: An ILO Manual for Asia and the Pacific</i>	ILO Regional Office for Asia and Pacific, EASMAT	1994	UNDP
Unemployed Women in Vientiane, Survey Result	CARE International	1994	
<i>Urban Labour Force Survey (ULFS)</i>	National Statistical Centre, State Planning Committee	1994	
<b>その他</b>			
<i>1997-1998 Vientiane Social Survey Project</i>	Institute for Cultural Research, Ministry Information and Culture	1999	GRID Centre
<i>Needs Assessment on Cross-border Trafficking in Women and Children - the Mekong Sub-region-, Prepared for the UN Working Group on Trafficking in the</i>	Therese M. Caouette	1998	GRID Centre
<i>Sexually Exploited and Sexually Abused Children: A qualitative Assessment of their health needs and services available to them in selected provinces and districts in Laos</i>	Ministry of Labour and Social Welfare, Department of Social Welfare	1998	GRID Centre
<i>Farmer, War-wife, Refugee, Repatriate: A Needs Assessment of Women Repatriating to Laos</i>	Dia Cha and Jacquelyn Chagnon	1993	GRID Centre
<i>Lao Women: Yesterday and Today</i>	Ngaosyvathn Pheuiphaphanh	1993	GRID Centre

## 7. 用語・指標説明

<用語説明>

ジェンダー (gender)

社会的・文化的性差のこと。生物学的な性差（セックス）は、基本的には変更不可能だが、男女の役割やその相互関係を示す社会的な性差（ジェンダー）は、人々の考え方や価値観によって規定されているため、時代や地域などにより異なり、また変えていくことができる。

インフォーマル・セクター (Informal Sector)

労働統計上、雇用者のいない単独業種の経済活動の人口や家族従業者。この特徴は、単純な技術、わずかな資本、営業場所不定、最低限の被雇用者（もしくは被雇用者なし）、準適法性・登録の欠除、帳簿付けの欠如などである（ILO の定義による）。インフォーマル・セクターの労働者は、制度的・法的保護の目からもれ、不安定・低賃金労働環境に置かれることが多い。

WID (Women in Development)

女性は開発における受益者のみならず、自主的な開発の担い手であることに留意し、開発プロジェクトのあらゆる段階への女性の積極的参加の確保に配慮した開発をすすめること。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (reproductive health / rights)

性と生殖に関する健康/権利。安全で満足な性生活を営めること、子供を産むかどうかの選択、時期、人数などを決定する自由をもつこと。

ナショナル・マシナリー (national machinery)

男女平等を推進する国レベルの女性問題担当行政機関。女性政策の立案・実施・各省庁への男女平等な施策の実施の促進を行う。

エンパワーメント (empowerment)

個人または集団が政治・経済・社会的な力をつけていくこと。

アファーマティブ・アクション又はポジティブ・アクション(affirmative action / positive action)（積極的差別是正措置）

被差別集団が過去における差別の累積により他の集団と比べ著しく不平等な状態に置かれているような場合、格差の急速な是正のためにとられる積極的な優遇措置。

アクセスとコントロール (access / control)

アクセスは土地、労働、資金といった経済活動を行う上での資源やサービスなどを使用できること、あるいは使用する権利を有すること。コントロールは資源やサービスなどの管理について決定したり、所有したりする権利。

再生産活動

子供を生み、育てることといった「次世代を再生産」する活動と、洗濯や炊飯といった家族員が日々の生活を維持し、労働力を再生産していくための活動。

<指標説明>

インフレ率

GDP デフレーターを代用。

ジニ係数

所得分配の不平等の度合を示す係数。0 と 1 との間の値をとり、完全に平等な場合 0、完全に不平等な場合 1 をとる。0.4 以上の場合、不平等度が高いと一般的に判断される。

女性所得比率

各国比較可能な該当データがなく、UNDP の女性所得比率では、非農業部門における男性所得の 75% を女性所得として算出している。

合計特殊出生率

ある年次における再生産年令（15—49 歳）の女性の年令別特殊出生率の合計。一人の女性が、その年次の年令別出生率で一生の間に生む平均子供数を表わす。

1 才未満乳児死亡率

出生 1000 に対する 1 才未満乳児死亡数の比率、すなわち 1 年間の 1 才未満乳児死亡数 ÷ 1 年間の出生数 × 1000。

5 才未満幼児死亡率

出生 1000 に対する 5 才未満幼児死亡数の比率、すなわち 1 年間の 5 才未満幼児死亡数 ÷ 1 年間の出生数 × 1000。

妊娠婦死亡率

10 万人出産に対して、妊娠関連の原因で死亡した女性の年間あたりの人数。

出産介助率

医師、看護婦、助産婦、訓練を受けた公衆衛生従事者、あるいは訓練を受けた伝統的な助産婦のもとに出産をする割合。

**低体重児率**

2500 グラム以下で生まれた新生児の割合。

**経口補水療法(ORT)使用率**

5 才未満児の下痢に対して経口補水塩または代替溶液が使用される比率。

**小中学校就学率**

総就学率(または粗就学率)は学齢に関係なく就学している生徒数が学齢相当人口に占める割合。

純就学率は学齢相当の就学数が学齢相当人口に占める割合。